



第92号 2025. 3. 25

(公社)津法人会 青年部会
津市広明町121番地 津税理士会館4階
TEL(059)225-1302



TSUHOJINHAISEINENBUKAI (Instagram)



(ホームページ)

提言

「もうすぐ大阪・関西万博がはじまるよ」

2025年4月に開幕する大阪・関西万博。開幕まで残り100日を切った今、現地では急ピッチで準備が進められている。当初は、大屋根リング建設に伴うコストや工法などが批判され、会場整備が開幕までに完成するのとか、本質的でない話題が注目されてきました。そこで、今回の万博について調べてみることにしました。

今回のテーマは

「いのち輝く未来社会のデザイン」

人類は、環境に応じて多様な文化を築き上げることにより、地球上のいたるところに生活の場を拡大した。その一方で、利己を優先するあまり、時として、自然環境をかく乱し、他の集団の犠牲の上に、不均衡な社会を作り上げてきてしまったのも事実である。そして今、生命科学やデジタル技術の急速な発達にともない、いのちへの向き合い方や社会のかたちそのものが大きく変わりつつある。いのちそのものを改編するまでの高度な科学を築き上げた私たちには、人類が生態系全体の一部であることを真摯に受けとめるとともに、自らが生み出した科学技術を用いて未来を切り開く責務があることを自覚し、行動することが求められる。自然界に存在するさまざまないのちの共通性と相違性を認識し、他者への共感を育み、また多様な文化や考えを尊重しあうことによって、ともにこの世界を生きていく。そうすることによって、私たち人類は、地球規模でのさまざまな課題に対して新たな価値観を生み出し、持続可能な未来を構築することができるにちがいない。一人ひとりが互いの多様性を認め、「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、いのちを「知る・

育む・守る・つなぐ・拡げる・高める・磨く・響き合わせる」というテーマが設定されているそうです。これらから得られる体験は、人びとにいのちを考えるきっかけを与え、創造的な行動を促すものとなるに違いない。他者のため、地球のために、一人ひとりが少しの努力をすることをはじめ。その重なり合い、響きあいが、人を笑顔にし、ともに「いのち輝く未来社会をデザインすること」につながっていく。

重要なキーワードとして挙げられているのが「共創」ではないだろうか。あらためて「これからの日本（世界）の暮らし（まち）」を考え、多彩なプレイヤーとの共創により新しいものを生み出していく取り組みを、万博を活用し、物品やサービスを新たに開発し、社会課題の解決や未来社会の実現を目指す。自分に何かが欠けていることを認め、まずはそうした認識を持つことが、共創を成功に導くポイントではないでしょうか。そこでのさまざまな体験を通じて、来場者は何かを学び、「自分を変える」きっかけとすることができるそうです。この機会を通じ、『自分の持つ能力が何か』を理解し、主体的に行動するということが大切だと考えます。その意味で、今回の万博は、共創によって自分に足りないものを補完するチャンスでもある。どうすれば、自分の生活を豊かにしながら、社会にもよい影響を与えられるのか。実はそれぞれの方々に改めて主体者として感じてもらうことが、今回の万博における一番の目的なのだと思います。自分の何かを、大切な人たちへの何かを見つけることができる機会として是非とも大阪・関西万博へ参加してみてはどうでしょうか。

親睦ボウリング大会

日時：令和6年8月5日(月) 18:00~20:15

場所：津グランドボウル



令和6年8月5日、津グランドボウルにて親睦ボウリング大会が開催されました。当日は20社・59名（大人38名・子供21名）の参加で、大人も子供も笑顔いっぱい楽しんでいただきました。

プレー終了後はグリーンパーク津さんのお料理をいただきながら、懇親会と表彰式が行われました。



9月例会

『税の経験いろいろ』

日時：令和6年9月18日(水) 18:30~20:30

場所：東洋軒

講師 津税務署 署長 高橋 孝子 様



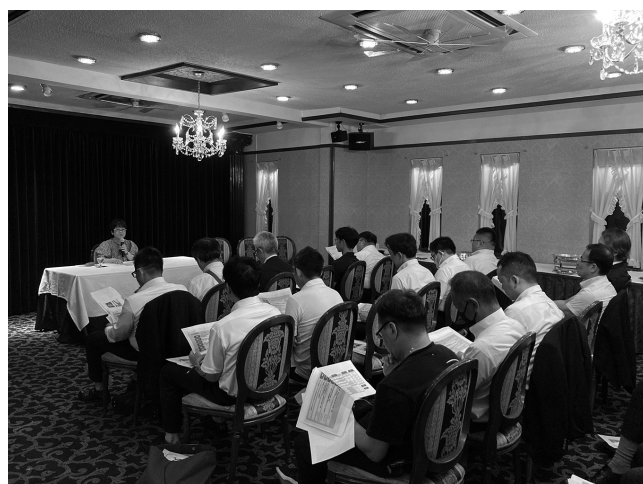
本年度9月例会では、例年通り津税務署署長 高橋孝子様を講師にお迎えし、「税の経験いろいろ」と題してご講演いただきました。

高橋署長は津税務署初の女性署長であり、税務署に勤務された当初は女性職員が少ない中、女性職員として初めての業務を多く経験されたそうです。地元の税務署に勤務された後、名古屋国税局や、管内の税務署を歴任されました。

署長として初めて着任された税務署では、小規模な組織の中で署長としての異なる経験を積み、非常に貴重な経験だったとお話いただきました。

また、若い頃は会社側に経理資料を適切に提出してもらうことにも苦労したというエピソードもお話いただきました。税務職員としてのやりがいについては、企業の会計資料から不適切な納税処理を見つけ出すことで、税の適正化に貢献できることだとお話しされ、その情熱と使命感が伝わる内容でした。

講演後は、高橋署長をはじめ、副署長の中社知宏様、法人課税第一部門 統括国税調査官の安藤明様を囲み、会員同士の交流を深める楽しい時間となりました。



租税教育活動報告

ジュニアエコノミーカレッジ in 津

日時：令和6年8月25日(土) 11:00～11:50

場所：津商工会館 丸之内ホール

8月25日、津商工会議所のジュニアエコノミーカレッジの一環として、津商工会館にて租税教室を開催いたしました。今年は6グループを対象に実施し、例年と同じく明るく元気な子供たちの姿を見ることができ、大変嬉しく感じております。

例年通り夏休み期間中の実施となりましたが、ご参加いただいた皆様には心より感謝申し上げます。一方で、休日で役所が閉まっているため、シロモチ君の手配に通常より大きな負担が生じる点も課題として残りました。

今後はこうした負担を軽減できるよう、対策を検討していく必要があると考えております。

今後とも、租税教育を通じて子供たちに税の大切さを伝えていけるよう、尽力してまいりますので、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



ジュニアエコノミーカレッジとは、津市内小学5・6年生を対象とし、模擬株式会社を設立し、ドリームプラン（事業計画書）を作成したうえで出資金を集め、チームで商品の開発・製作・仕入をします。

帳簿のつけ方やビジネスマナーを学び、その後販売の実践・決算報告・税金の納付（津市に寄付）をして、商売の仕組みを学び起業体験プログラムです。



令和6年度 新人会員 【4月～3月】 (順不同・敬称略)

- | | |
|--------------------|-------|
| 1 (株) 辻工務店 | 吉田 安寿 |
| 2 三重交通(株) | 村林 佑哉 |
| 3 (株) クラユニコーポレーション | 倉田 基史 |
| 4 安濃急送(有) | 前田 英行 |
| 5 税理士法人 中田会計事務所 | 中田 慎祐 |
| 6 (株) エスパ | 北村 和也 |
| 7 (医) 久居病院 | 棚橋 祐輝 |



11月7日8日の2日間、福井県で開催されました「全国青年の集い福井大会」に参加をしました。コロナ禍の記憶も薄れ、多くの人で賑わう活気のある大会となりました。

7日は「租税教育活動プレゼンテーション」「健康経営大賞」の発表がありました。「租税教育活動プレゼンテーション」ではパネル展示もあり、盛り上がっていました。税金を「ライフリテラシーゲーム」というゲームで学ぶという熊本法人会青年部会の取り組みや、実際に税金

を使ってどんな未来への投資をするのかというワークショップを子供同士で異論し発表する久留米法人会青年部会の取り組みなど、全国での取り組みの紹介があり、大変刺激を受けました。

「健康経営大賞」では、5つの青年部会と5つの会社がそれぞれプレゼンを実施し、とても興味深い内容でした。改めて、津法人会青年部会と自社であるネットヨタ三重で健康経営を推進するために、その内容に注目しました。そのような中、津市のお隣の松阪法人会青年部会さんの健康経営大賞のプレゼンがあり、積極的な取り組みをしている事が分かりました。改めて、県内の他法人会青年部会との情報交換や交流なども必要だと感じました。その後は部会長ウェルカムパーティーで、色々な青年部会の部会長と交流し、悩みや今後の取り組みについて聞いてきました。こちらにも昨年に引き続き大きな会場に多くの人が集まり、大変圧倒されましたが、日本全国の部会長と交流・意見交換を実施しました。

8日は「部会長サミット」「大会式典」「記念講演」「大懇親会」が行われ、租税教育活動と健康経営大賞の表彰がそれぞれ行われました。また午後からの記念講演では元フジテレビアナウンサーの笠井信輔氏から「足し算で生きる～がんステージ4からの生還～」との講演をいただきました。元アナウンサー





の軽快なトークで、がんに対して前向きに取り組むことで、がんを克服しその体験を伝えるという事が、健康経営にも通じるなと感じました。2日を通じて、参加していただいたメンバーを中心に、今後の租税教育活動やそれぞれの会社の発展につながるヒントが見つかったと思います。

そして夜は先発組と後発組が合流し、OBの方も含め、大懇親会→津法人会青年部会の懇親会と、福井で楽しく美味しい蟹を食べ、熱い交流をすることが

できました。参加していただいたメンバーとOBの皆様、誠にありがとうございました。

本年は山梨で全国大会が、令和7年11月20、21日の2日間で開催されます。山梨での全国大会にも、多くの津法人会青年部会のメンバーと参加したいと思っておりますので、どうぞ今からご予約のほど、よろしくお願いします。

以上



12月例会 忘年会

日時：令和6年12月12日(木) 18:30~20:00

場所：高田会館

恒例の忘年会が23名の参加で、高田会館にて開催されました。宴会途中のイベントでは津法人会会員企業の製品が当たるルーレットゲームを行い、大いに盛り上がりました。研修の場はもちろん大切ですが、宴会の場で情報交換をすることは経営者にとって課題解決につながることも大いにありますので、会員の皆様にはぜひ積極的にご参加いただきたいと思います。



租税教育活動報告

12月13日の南が丘小学校と1月15日の敬和小学校で、租税教室を開催しました。

税金について学び、税金がどのように私たちの生活に役立っているのかを理解してもらいました。

教室では、税金の仕組みや使い道について、クイズなどを取り入れワークショップ形式で分かりやすく説明しました。特に、税金が公共施設やサービスにどのように使われるのかを具体的に紹介し、子どもたちにも身近に感じてもらえるようにしました。

また、一番盛り上がったのは「シロモチくん」とのふれあいでした。かわいらしい立ち姿で、子どもたちは大興奮！シロモチくんと一緒に写真を撮ったり、手を振ったりして、楽しさが溢れる時間となりました。子どもたちの中には、初めてシロモチくんを見たという子もいて、感動している様子がとても印象的でした。

最後に、子どもたちからは「税金がこんなに大切だと知らなかった！」という声が多く聞かれました。シロモチくんとのふれあいが、さらに楽しさを引き立て、税金の重要性を学びながら、楽しく過ごすことができましたようです。

今後も、このような活動を続けて、税金に対する理解を深めてもらえるような機会を提供していきたいと思います。



2月例会

『元日本代表が教える 毎日歩きたくなる・走りたくなる ウォーキング&ランニング』

日時：令和7年2月7日(金) 19:00~20:40

場所：日硝ハイウェアリーナ（サオリーナ）メインアリーナ

講師 鈴鹿大学 陸上競技部コーチ 市野 泰地 氏



令和7年2月7日(金)に津法人会青年部会2月例会を開催しました。

今回は鈴鹿大学陸上競技部コーチの市野泰地氏を講師にお迎えし、「元日本代表が教える 毎日歩きたくなる・走りたくなる

ウォーキング&ランニング」と題し、ご講演の後、実際に体を動かしてのトレーニング指導を受けました。

当日は21名の青年部会メンバーが参加し、講演が始まりました。

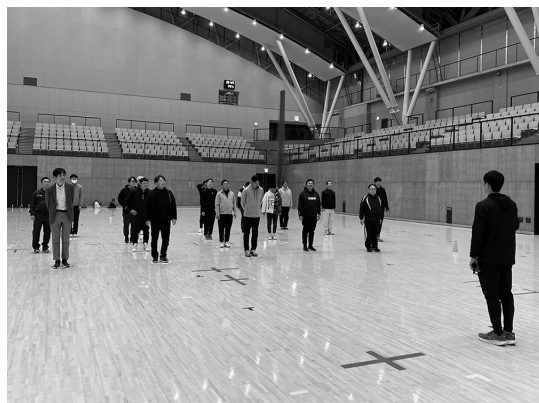
市野氏は津市出身で、大学を休学し単身渡米、カール・ルイスも所属した陸上倶楽部でトレーニングを受けるなど、チャレンジ精神溢れるアスリートとして日本代表にも選出、活躍された後、現在は指導者として活躍されています。

講演ではヒトはなぜ歩き、走るのか？という根源的な問いに答えつつ、市野式疲れない歩き方・走り方として地面を蹴るのではなく、地面からの反発を利用することで長時間の運動を可能にする二段接地歩法、走法をご指導いただきました。座学の後にはメインアリーナにて小さなハードルやサークルなどの器具を使い、実際ウォーキング、ランニングに役立つ体の使い方を実践から学びました。

翌々日に開催予定の津シティマラソン、今後のウォーキングキャンペーンにおいても活かせる知識を体得する例会となりました。

講演終了後は、参加した青年部会メンバーと名刺交換、講演を通してのそれぞれの気づきなどを共有し、懇談を深めることができ、有意義な時間となりました。

お忙しい中、快く講師をお引き受けいただいた市野様、ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



会員拡大

新しく、(公社)津法人会青年部会に入会される方をご紹介します!!

青年の持つフレッシュな感覚と行動をもってお互いに啓発と親睦を図り「経営基盤の確立」と「後継者づくり」が大きな目的です。

50才までの方であれば会社の役員、従業員、男女等問いません。

●会費…年額6,000円 詳しくはお近くの青年部会役員が事務局へお問い合わせ下さい。

事務局／津市広明町121 津税理士会館4階 TEL059-225-1302 FAX059-227-6085

<http://www1.mint.or.jp/~hojinkai/> E-mail:hojinkai@mint.or.jp

いもいもはげみ!

第40回

富士山

きっかけは健康経営の一環で、数年前から行われている青年部会で参加していたウォーキングキャンペーンというイベントでした。

そのイベントに参加して2年程経った頃に、当時津法人会の担当をして頂いていた大同生命のM氏が静岡に転勤になり、送別会時に「また静岡に遊びに行きます富士山登りましょう」と軽く言ったつもりでしたが…、夏前に「富士山の山開きがもうすぐです一緒に登りませんか？」と連絡を貰いました。

以前の自分なら多分断っていたと思います。いきなり富士山登れるのか？と思いましたが、このタイミングを逃すと一生登る機会がないかもなと思ったのと、ウォーキングでかなり歩いていたので、足腰には多少自信があり、行けそうな気もしたので、挑戦してみることにしました。

富士山に登る話を家庭でしていたら、私の息子たち（当山中2と小4）も行きたいと言うので、一緒に行くことになりました。

登山初体験の為、登山グッズを何も持っていないので、何が必要なのかを調べてみたら、靴（ミドルカット及びハイカット）、リュック（腰で支えられるタイプ）、トレッキングポール、帽子、レインウェア、救急セット、酸素、サングラス、靴のカバー等

思っていたより色々準備が必用なんだと思いました。

いきなり富士山は怖かったので、事前に近場の山に登ったりして練習し準備をしました。

そしてとうとうその日を迎えました。前日の夕方に富士宮市のホテルに泊り、翌日朝6時30分発富士宮口五合目行きのバスに乗り、8時55分に5合目に到着しました。

まずは準備運動などしながら30分ほど体を慣らしていよいよ登山開始です。

約40分ほどで6合目に到着（2490M）まだまだ元気です！少し休憩しふたたび登り始め、約1時間ほどで7合目に到着（3030M）まだみんな元気です！ここでお昼ごはんを食べました。（たしかうどんとかラーメンを食べたと思います）7合目出発時点で12時、天気も良いし順調な感じでした。

13時15分8合目に到着（3250M）。少しひんやりしてきて天気も曇りになってきました。空気も薄い感じがしてきて少し頭が痛くなってきました。

そしてここで次男（小4）に疲れが出始めたので、私が次男の荷物を持って登ることになりました（；_；A

このあたりから休憩が増え始め、ペースも悪くなってきましたが、なんとか14時30分9合目に到着（3400M）。風がかなり強くレインウェアを着ないと寒い位になってきました。遠くで雷がなり始め、雨も降り始めてきたので、山小屋で休憩することにしました。

酸素缶が無くなったのでここで購入。（7合目あたりでは2000円だったのがここでは4000円しました！富士山は5合目以外はほぼ現金しか使えませんので登る方は注意してください。）

16時には到着したかったので、雨が降っていましたが出発し登り始めました。しかしこのあたりから岩が多くなり、足元が悪いのと、急な登りが増えてきて、頭は痛い・体力も残り少なくなり、精神的にもきつくなってきました。そんな中、中2の長男は陸上部で普段から走っているので全然疲れが無く、1人で山頂まで先に登り、荷物を置いてまた下ってきて、次男の荷物を背負いまた登っていきました。恐ろしいスタミナだなーと感心しましたが、この行為で後に苦しむことになります。

体力が無くなり、頭も痛い次男を励ましながらかんとか10合目頂上富士館（3710M）に到着したのは、予定時刻を大幅に超えて17時30分でした。疲れ切った次男はそのまま布団に倒れこみ、元気だった長男もハイペースで登り下りしたことにより軽い高山病になり、これまた布団に倒れこみ、夕食を食べずに就寝。

我々も、消灯19時の為慌てて夕食を済ませて就寝しましたが、頭は痛い、トイレの匂いは臭い、布団もほとんど干していないのか砂っぽい感じで、気になって眠れませんでした。

唯一良かったのは、宿泊が10合目の為、外に出たら山頂という所でした。

浅い眠りのまま4時に起床し、5時までに身支度を済ませてチェックアウト、5時19分に御来光を無事見ることが出来ました。

心身ともに清々しい気持ちになったのを覚えています。

ここから下山しないといけませんが、ぐっすり寝て元気な子供たちと、あまり眠れずに元気のないおじさんたち…頑張って歩きましたがどんどん離されていき、子供たちより30分近く遅れましたが4時間で無事下山致しました。

今回の富士登山では、いろいろ学ぶこともありましたが、自分自身そして子供たちもとても良い経験が出来たと思います。しかし辛い経験をした次男（頭痛が本当に苦しかったみたいです）は二度と登りたくないと言っておりました（笑）

次回おじさんフルマラソンに挑戦へ